



# 大切な農地を守る「農業委員会」でも 女性の活躍が求められています！

さて、皆さんは「農業委員会」を知っていますか？

農業委員会は、「農業委員」と「農地利用最適化推進委員（以下、推進委員）」で構成される行政委員会。農地法に基づく許認可や農地利用の最適化の推進、担い手対策と情報の提供などを行っています。

内閣府男女共同参画局が定めた「第5次男女共同参画基本計画」では、女性の農業委員の登用

率（全国平均 12.6%、県内市町村平均 11.0%）を 2025（令和 7）年度までに 30% を達成するよう目標が定められています。

市では 3 人の女性農業委員（26 人中 3 人〈11.5%〉）と 1 人の女性推進委員（53 人中 1 人〈1.9%〉）が活躍しています。

地域の農地を守り持続可能な農業を推進していくためには、これまで以上に女性の登用活動に取り組んでいくことが重要です。

<b>農地法に基づく許認可など（法令業務）</b> ◎農地の売買や貸借の許認可 ◎農地転用に関する事務 ◎遊休農地に関する措置	<b>農地利用の最適化の推進</b> ◎担い手への農地の集積と集約 ◎遊休農地の発生防止と解消 ◎新規就農と新規参入の促進	<b>担い手対策と情報の提供</b> ◎農業者年金の加入推進 ◎農業簿記や青色申告の普及 ◎広報紙「農業ひろさき」の発行
--	--	---

**農業委員** 定数 26人

農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関しその職務を適切に行うことができ、農業委員選考委員会により候補者に選考され市議会の同意を得て、市長から任命された人。

**農地利用最適化推進委員** 定数 53人

農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有し、農地等の利用の最適化の推進のための活動ができ、推進委員選考委員会により候補者に選考され農業委員会から委嘱された人。

**Mission!** 地域の農地利用を通じて、地域づくりに貢献！



## あなたも農業委員・推進委員に応募してみませんか？

### 農業委員・推進委員の改選

農業委員や推進委員は、3年ごとに自薦または他薦による応募を行い、第三者委員会にて選考し、選考内容をもとに市長または農業委員会が任命・委嘱します。

現在の農業委員等の任期が令和 6 年度末で満了となり、令和 6 年度中に委員の改選が行われます。地域の思いにあふれるあなたも応募してみませんか。興味がある人はお気軽にお問い合わせください。

※応募期間等は広報ひろさき等でお知らせします。

■問い合わせ先 農業委員について…農政課（市役所 3 階、☎ 40-0656）／推進委員について…農業委員会事務局（市役所 3 階、☎ 40-7104）

## Interview

### 女性農業委員・農地利用最適化推進委員の皆さん！

#### 石岡 千鶴子さん（農業委員）

##### 一緒にまちづくりをしよう！

耕作放棄地や粗放園が増えることに危機感を抱き、農業委員に就任しました。私が就任した当時は、農業委員は男性の領域でした。男性は女性より先に亡くなるケースが多い傾向にあるため、残された農地をどうしたらいいか、1人で悩む女性も少なくありません。そんな時に、同性である強みを生かして、解決方法を一緒に考え、農業者の課題解決の一助となれたら幸いです。



#### 岩谷 裕子さん（農業委員）

##### 家族の応援で頑張っています！

2016（平成 28）年から農業委員を務めています。始めたきっかけは、農業委員だった夫から勧められたためです。女性の農業委員の強みは、初対面の農業者と気構えることなく、柔らかく接することができることだと感じています。これからは、女性はもちろん、男女ともに今の「若い人たち」に弘前の農業委員や推進委員を担ってほしいですね。



#### 田村 眞裕美さん（農業委員）

##### 一歩前へ踏み出す！

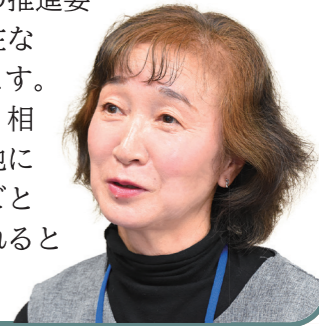
農業委員をはじめたきっかけは、ViC・ウーマン（Village Conductor of Woman の略称、地域のよりよい「農林水産業とくらし」を指揮する女性リーダーのこと）の会長を務めた経験が、農業に役立てばいいなと考え、自ら応募しました。同じ活動地域に女性の委員がいると連携が取りやすいので、農業の未来を考えている女性の参画を期待しています。



#### 花田 洋子さん（農地利用最適化推進委員）

##### 農地の活用をサポートします！

農地活用支援隊員（農業委員・農地利用最適化推進委員のサポート役〈市独自の制度〉）の活動をきっかけに推進委員に応募しました。高齢女性が農地を所有していることが少なくないので、女性の推進委員は相談しやすい存在なのかな、と感じています。農地の継承や活用、相続の手続きなど、農地に関する不明点や困りごとを気軽に相談してくれると嬉しいです。



### おわりに

今回の特集では、女性の農業者・行政委員の活躍にスポットをあてて紹介しました。農業のイメージは、いわゆる「3K（きつい、汚い、危険）」と呼ばれていましたが、農業機械や栽培技術の向上、働き方改革の推進、サポート体制の整備などにより、老若男女問わず農業に参画しやすい環境が生まれています。市の基幹産業である農業の維持・発展を図るには多様な担い手の存在が必要です。農業者を支援するさまざまな制度がありますので、お気軽にご相談ください。

